



松本のり子

神戸市会議員

学校・教育の立て直しへ

子どもに人間の尊厳を教えるべき教員の間で、重大な人権侵害・暴力事件が起きたことが多くの人に衝撃を与えました。日本共産党神戸市会議員団として緊急の対応策実施や学校と教育の立て直しへ全力を挙げています。

10月11日議会総括質疑でわが会派は、「真実を知りたい」という保護者に対して市教委の担当者が「詳しいことを知りたければ情報開示請求を」と言い放って詳しく説明しなかったことを批判し、「子どもたち、保護者に寄り添い丁寧な説明と真相解明を」と強く求めました。

その後の常任委員会の教育委員会審査では、市教委が校長任せにしていた問題をはじめ、加害教員が担任だったある児童は布団の中で泣いていたという深刻な影響も紹介し、「児童と保護者の心のケアと被害教員の二次被害防止に全力を注ぐよう」求めました。また、加害教員の1人は子どもへの体罰も行っていました。さらに、前校長が被害教員からの聞き取りの際、まともに対応しなかったことなどを明らかにしました。

わが会派として、この問題を受けて11月16日にシンポジウムを行いました。なぜ、教員間のいじめや暴行、人権侵害が異常な形で横行したのか、真相解明へ引き続き全力を挙げていきます。



2018年度神戸市一般会計決算

巨大開発より市民生活を応援する施策を

平成30年度決算一般会計の実質収支は約20億円の黒字となっています。これは事務事業の見直しを初め、信用保証料の見直しや小学校調理業務の民間委託など、平成28年から30年度に165項目にわたる事務事業の廃止・縮小、職員定数の削減を実施した結果です。震災後、毎年一般会計の黒字が続き、120億円のお金が基金としてあります。にもかかわらず、認知症の保険制度、1人あたり400円を超過課税しました。この超過課税をやめるといふ決断をすべきです。

また、市民のくらしの状況は国民健康保険加入者を見れば分かりますが、年間所得100万円未満の加入者が79%も占めています。

高齢化が進み、若者の非正規雇用が4割といわれている状況を見ても市民サービスに力を入れるべきで、新中央区役所の移転整備約95億円、本庁舎2、3号館の整備に約360億円を今かける必要はないと質しました。



市役所2号館

本庁舎整備スケジュール(案)



来年4月 総合福祉センター(中央区)にひきこもり相談室の開設へ

若者・大人のひきこもりは全国で69万人以上といわれ、年々増え続けています。生きづらさに悩み苦しんでいる人達やその家族を理解し、どのように寄り添い援助すべきかが行政に問われています。松本議員はこの問題を質問し、各区に相談窓口や居場所を開設することを求めました。市は、来年4月に新しく総合福祉センター(中央区)にひきこもり相談窓口を設け、ここが中心となり各区のひきこもり対策の充実をしていくと答弁しました。

社会や周りの人々に心を閉ざしている人達が「居場所」に来て喜怒哀楽を感じて周りの人の力で自信をつかむことができれば、次の「自立・自活」へとつながっていくので、「相談窓口」とあわせて「居場所」づくりを求めています。

中学校でも小学校のようなあたたかい給食を食いたいなあ!

9万筆を超えた「中学校給食を求める署名」やたびたびの議会質問など多くの世代の願いを受けて市内82校で給食が実施されました。

しかし民間業者から運ばれてくるデリバリー方式のため(おかずは10℃に冷やされている)「冷たい・美味しくない」と不評で利用率はわずか30%台です。

給食を提供している民間業者と契約が終了するのは2021年3月です。安全・安心であたたかい給食をみんなで食べることで食育を培うことができると考えます。小学校のように学校の調理室で作り手の顔が見える自校調理や親子方式で実施するよう引き続き求めていきます。



きだ県議と署名

井戸知事・久元市長も 核兵器廃絶国際署名にサイン!

原爆は74年たった今でも被爆者のからだ、くらし、こころに被害を及ぼしています。母親の胎内で被爆した胎内被爆者は現在7200人います。原爆は一瞬に熱線と爆風と放射線によって広島、長崎で大量無差別に人の命を奪いました。

「再び被爆者をつくるな、核戦争を起こすな、核兵器なくせ」の被爆者が中心の署名を西宮市・伊丹市のように神戸市でも市役所において推進すべきと質問しました。市は、来年8月の戦争展で被爆者署名にとりくむことを答弁しました。



「おやこふらっとひろば」ができます

各区役所に室内で子育て中の親子が毎日気軽に集い、語り、くつろげ、子育て相談や情報提供ができる場をつくっています。来年度から東灘区役所の5階にできる予定です。子育ての不安や疑問の相談、援助の実施なども行います。子どもと向きあい、楽しく子育てできる場になるように求めています。



公園の草を刈り、遊べるようになりました

本庄町2丁目や魚崎中町1丁目の公園が草ぼうぼうで、子ども達が遊ぶと蚊に刺されて「遊べない」と苦情が寄せられました。早速、建設局事務所に連絡すると、すぐ草刈りが実現し、子ども達が蚊に刺されることなく遊んでいます。



本庄町公園の草の生い茂った様子

● 松本のり子までご相談ください ●

◎日本共産党神戸市議員団

神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市議会内 ☎ 078-322-5847

WEBサイト <http://www.jcp-kobe.com/>

◎東灘事務所 東灘区住吉宮町 3-15-8 ☎ 078-414-8875



敬老パス・福祉パスの改悪ストップ

市民の足を守れ

市の予算の0.08%分で維持できます

今年6月、兵庫県バス協会から神戸市に負担金の増加を求める申し入れがあり、有識者会議が開かれ、4回目に見直しを盛り込んだ報告案が出されました。報告書は①敬老パスの低所得者向け無料乗車券(年3万円分)は廃止を含む見直し、②市バスの長距離路線は小児料金にして現在の一律110円から値上げ、③母子世帯は無料乗車できる福祉パスでなく父子世帯を含めた別の一人親施策に転換という負担増の改悪案を提起しています。

これに対し多くの市民が改悪反対の声を上げ短期間で2万4000筆の署名が集まり、市長に提出しました。また、11月議会でもわが会派は市長に「有識者会議の委員に当事者の市民を入れ声を聞くべきだ」との質問に対して市長は「署名の内容は読めば分かる。それ以上意見を聞く必要はない」という冷たい態度で市民に背を向ける答弁でした。

引き続き「改悪反対」の声を市民とともに上げていきます。



敬老パス・福祉パスの署名

みなさんの声が力に 都市空間向上計画(案)

神戸市の計画が破たん!!

神戸市は、鉄道駅からの距離だけで地域を線引きし切り捨てる「都市空間向上計画(素案)」を6月末に発表し、413通1176件もの市民意見と議会からも線引きに反対意見があがったことを受けて、10月31日に見直し案として「都市空間向上計画(案)」を発表しました。

計画(素案)時点では、鉄道駅から1600mの範囲を「駅周辺居住区域(居住誘導区域)」と「山麓・郊外居住区域(居住誘導区域外)」とに線引きされていましたが、計画(案)では、鉄道駅に加え、片方向運行が100本以上のバス停から500mの範囲を「駅・

主要バス停周辺居住区域(居住誘導区域)」と発表。これまで「山麓・郊外居住区域」(下図のうす緑色の部分)と指定されていた区域のほとんどが、居住誘導区域となりました。みなさんの不安や怒りの声、大きな運動が事実上、計画破たんへ追い込みました。一方で、計画(案)では、「山麓・郊外居住誘導区域」が西区などに一部残されることと、駅前の過密化の問題が残されています。

日本共産党神戸市議員団は、切り捨て地域をゼロにし、一方的に差別を受けるようなことなく、安心して暮らせるよう地域のみなさんと一緒に頑張ります。

- 居住区域
- 駅周辺居住区域(居住誘導区域)
 - 山麓・郊外居住区域
 - 工業団地・臨港地区など



これを認めたら
大変なこと!

6月発表
都市空間向上計画(素案)



- 居住区域
- 駅周辺居住区域(居住誘導区域)
 - 山麓・郊外居住区域
 - 工業団地・臨港地区など



計画撤回まで
声を上げよう!

10月発表
都市空間向上計画(案)



「子どものために 学校・教育の 立て直しを」

教育シンポジウム開催



東須磨小学校の教員間いじめ暴力事件、垂水区の中学校でのいじめ自死事案、六甲アイランド高校での飛び降り事案など神戸市では学校と教育の在り方を問う事件が頻発しています。党市議団は、これまで保護者・生徒の声をもとに、議会で質問し、市教育委員会の姿勢をたどってきました。私たちは、神戸市には子どもの人権を尊重しない管理教育のゆがみがあり、子どもの権利条約を教育現場に活かすことが大切だと考えています。11月16日には須磨で250人を集めた教育シンポジウムを実施しました。小学校の保護者からは、学校で子どもがおかれている大変な状況も語られました。こうした一つひとつの事実を踏まえながら、神戸の教育の改善に引き続き取り組んでいきます。

中学校給食が 一步前進!!



きた結県議員とともに署名活動を実施

西議員は、中学校給食の実現を求める署名、実現後は改善を求める署名を継続的に学校や保育園などの前でとり続けてきました。これは神戸市が10度以下におかずを冷やしたデリバリー方式のものにしたからです。西議員は「あたたかくておいしい」小学校のような給食に改善することを求めてきました。

今議会では、小学校で調理した給食を近接する中学校に持っていく「親子方式のモデル校をつくっていく」方針が新たに打ち出されました。民間業者との契約は2021年3月までです。さらに署名も集めて、神戸市の給食をよりよいものにするためがんばります。

安心して子育てできる街に

神戸市の姿勢を たどりました

みなさんこんにちは。決算議会の報告をさせていただきます。今議会で、大きな問題となったのは、2018年に全国でもっとも人口減少した街に神戸になったことでした。ところが、市長が人口減少対策として提案したのは、30億円もかけて駅前などに街灯を設置することでした。私は、あまりに的外れな提案であることを指摘し、神戸市で今必要なのは巨大開発ではなく、市民サービスの向上こそ求められると、市長を追及しました。また、「西宮や明石のように医療費の無料化を広げてほしい」との意見をあげた職員に対し、市長が「これ以上医療費の無料化を進めるつもりはない」「ほかの街に行かれてはどうか」と言い放ったことも問題にしました。若い世代を応援しない街に未来はありません。高校卒業までの医療費の無料化を私たちは求めています。

敬老・福祉パスの改悪や都市空間向上計画の問題、教育問題などについても今回取り上げています。安心して暮らし続けられる街にしていくために、みなさんとともにがんばります。



神戸市の無料は2歳まで

高校生(18歳)まで無料・助成の自治体

- 通院・入院とも中学3年まで無料 所得制限なし
- 通院・入院とも中学3年まで無料 所得制限あり
- 中3まで無料未実施



神戸市議員 西ただす

日本共産党 神戸市会報告 東灘区西部版 2019・20年冬号

発行/日本共産党神戸市議員団 日本共産党神戸市議団 検索

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165

●東灘区連絡先 住吉宮町3-15-8 TEL 414-8875

敬老・福祉パスの改悪ストップ

市民の足を守れ

市の予算の**0.08%**で維持できます

敬老パス交付数、利用者数

2017年
236,845人

交付枚数

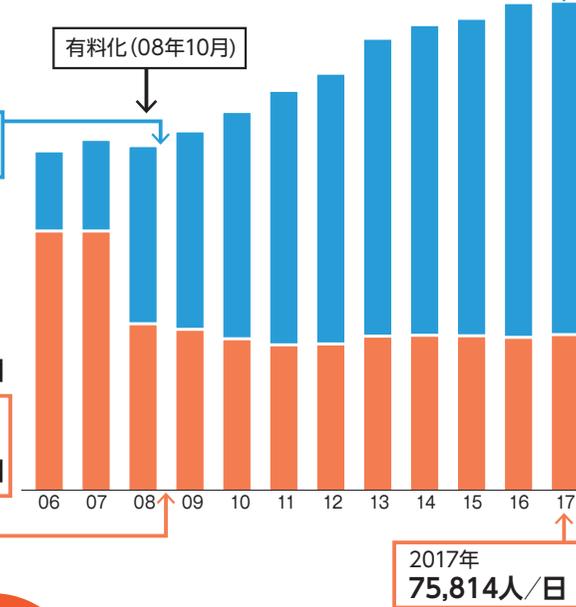
有料化前06
交付枚数
164,556人

有料化直後08
167,105人

利用者数

有料化前06
利用者OD調査
125,852人/日

有料化直後08
利用者IC調査
81,057人/日



敬老パスと福祉パスを議論する有識者会議が開かれ、市民負担増となる報告書が提出されました。市民のみなさんから1カ月余りで2万4000筆の改悪反対の署名が市に提出されました。議会では日本共産党議員団が奮闘し、民間バス業者が要望する水準を支払っても市の負担はほとんど変わらないこと、名古屋市では逆に敬老バスをJRなどにも拡大していることも紹介しました。その結果、報告書では敬老バスの年齢や料金の引き上げを見送らざるをえなくなりました。一方で、敬老バスでは、低所得者への無料乗車券の廃止を含めた見直し、福祉バスでは母子世帯へは利用を狭めるなど改悪点は残されています。高齢化の中、免許返納も進んでいます。健康寿命を延ばし、誰もが安心して暮らせる移動できるまちにしたいため引き続き、改悪ではなく拡充を求めています。

高潮・津波対策

ストップさせてはいけない

年次計画を**考えて**さらなる対策を

兵庫県の高潮浸水想定区域図



昨年の台風21号による高潮被害を受けて、六甲アイランド岸壁の嵩上げや住吉浜・深江浜での雨水対策としてポンプを設置する議案が今回提出されました。西議員は、その必要性を認めた上で、21号の時に狭い運河部分に海水が流れ込み、被害を拡大したことやポンプによる排水で運河の海面がさらに押し上げられ浸水被害が強まる可能性について質問し、沿岸部全体の対策をさらに進めるように求めました。同時に、9月4日に兵庫県が最大規模の高潮浸水想定区域図を発表し、10年計画で県は対策を考えているのに、神戸市は新たな対策計画がないことから、さらなる対策に踏み出すことを求めました。

みなさんの
声
が
力に

都市空間向上計画

神戸市の計画が破たん!!

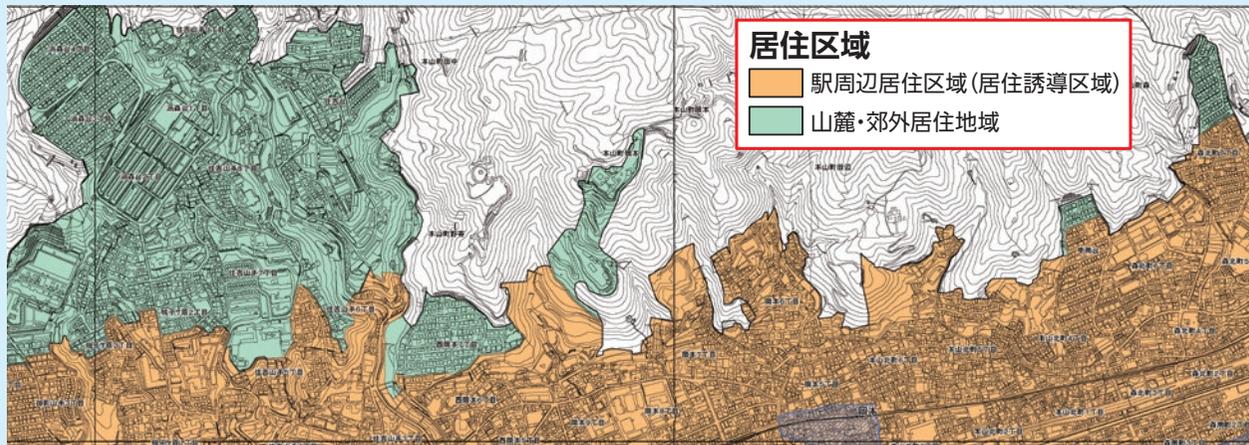
神戸市は、駅（当初）からの距離だけで地域を線引きし、切り捨てる都市空間向上計画を今年度中に策定する予定です。西議員は、パブリックコメント（市民意見）での「地域が分断される」「財産権や居住権を奪うものだ」などの声を紹介しながら、継続的に計画撤回を求めてきました。当初案では、山麓・郊外居住区域（居住誘導区域外）の住民が

3割に上り、甲南台をはじめ自治会などが独自の反対署名を提出するまでになっていました。その結果、今回の案では駅に加え、主要バス停も基準に加わり、かなりの部分で居住誘導区域外はなくなり、東灘区では完全になりました。

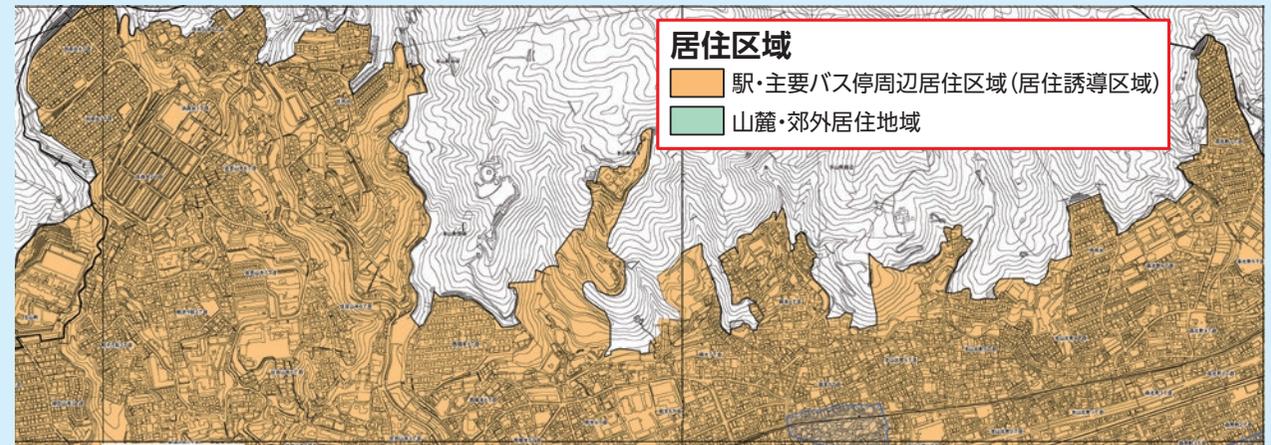
まさに神戸市が上から目線で進めた都市計画が破たんしたわけです。

引き続き、切り捨て地域をゼロにさせ、地域の課題は住民の目線で解決させる街にしていくためにがんばります。

*御影山手、渦森台、鴨子ヶ原、住吉山手、住吉台、西岡本、森北町、本山町、甲南台が居住誘導区域外からはずれました。



6月発表都市空間向上計画(素案)



10月発表都市空間向上計画(案)

みなさんの声が力に

神戸市の計画が破綻!!

都市空間向上計画(案)

神戸市は、鉄道駅からの距離だけで地域を線引きし切り捨てる「都市空間向上計画(素案)」を6月末に発表し、413通1176件もの市民意見と議会からも線引きに反対意見があがったことを受けて、10月31日に見直し案として「都市空間向上計画(案)」を発表しました。



神戸市議員

林まさひと

神戸市会報告 西年版 2019年 冬号

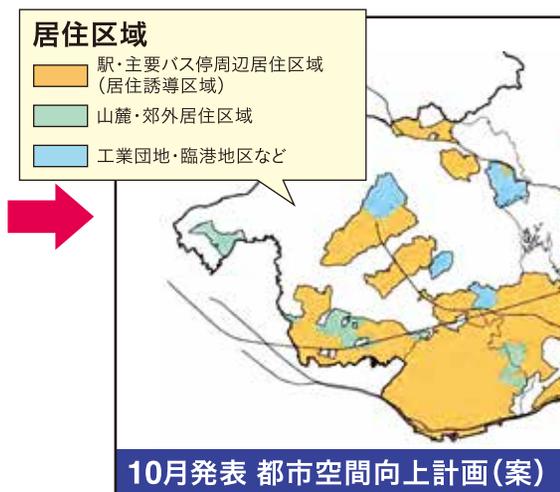
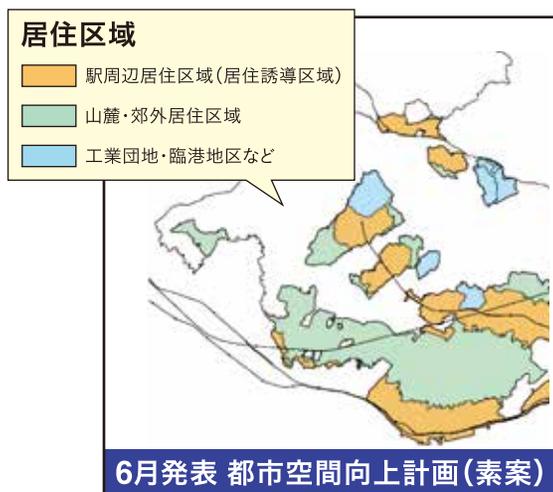
日本共産党

計画(素案)時点では、鉄道駅から1600mの範囲を「駅周辺居住区域(居住誘導区域)」と「山麓・郊外居住区域(居住誘導区域外)」とに線引きされていましたが、計画(案)では、鉄道駅に加え、片方向運行が約100本以上のバス停から500mの範囲を「駅・主要バス停周辺居住区域(居住誘導区域)」と発表。これまで「山麓・郊外居住区域」(右図のうす緑色の部分)と指定されていた区域のほとんどが、居住誘導区域となりました。みなさんの不安や怒りの声、大きな運動が事実上計画破たんへ追い込みました。一方で、計画(案)では、「山麓・郊外居住誘導区域」が西区などに一部残されることと、駅前の過密の問題が残

されています。

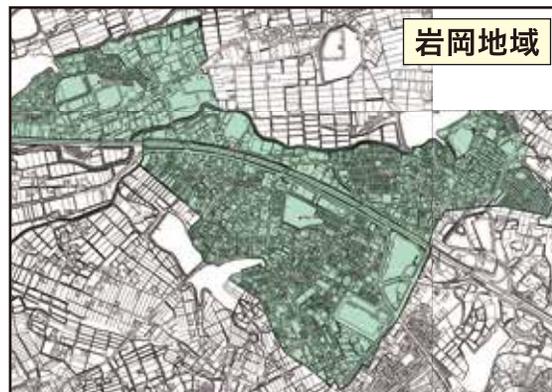
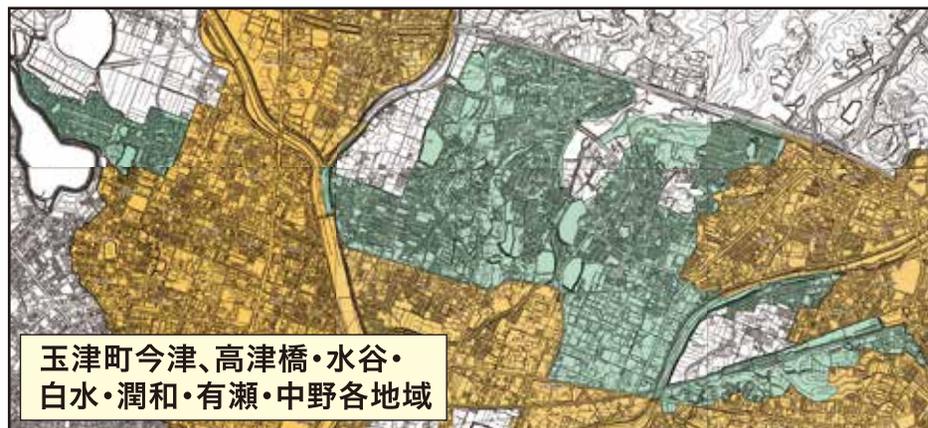
みなさんの声をおよせいただき、計画を撤回させましょう。

日本共産党神戸市議員団は、切り捨て地域をゼロにし、一方的に差別を受けるようなことなく、安心して暮らせるよう地域のみなさんと一緒に頑張ります。



地域切り捨ての計画は**撤回**を

計画(案)では、市街地のほとんどが居住誘導区域に編入されましたが、西区ではまだ南部、西部で区域外の切捨て対象地域があります。玉津町今津・高津橋など道路をへだてて同じ自治会区域、小学校区にもかかわらず分断されています。また、伊川谷小学校校区の白水などは、区画整理で整地された地域で、どんどん住宅が建っている地域です。きっぱり撤回させましょう。



各区の切り捨て
※試算

	6月(素案)	10月(案)
西区	人口の6割	15%未満
垂水区	人口の5割以上	2%未満
北区	人口の3割	1%未満
須磨区	人口の3割	0.5%未満
灘区	人口の1割	0%
東灘区	人口の5%	
兵庫・長田区	若干	0%
中央区	0%	
神戸市内	人口	30万人以上
	面積	3割
		5万人以下
		5%



市民の足を守れ

敬老バス・福祉バスの改悪ストップ



市の予算の**0.08%**分で維持できます

西区・垂水区

神姫バス・神姫ゾーンバス・山陽バス



兵庫県バス協会からの負担金増加を求める今年6月の申し入れを受け、敬老バス・福祉バスの在り方について、11月22日保健福祉局から見直し案が出されました。基本的な考え方として「両制度とも、長期に渡って維持し続けることを目指します」と表明していますが、制度維持を名目に①**バス近郊区の110円上限を廃止**→小児料金へ ②**敬老無料乗車証の全面廃止** ③**母子世帯の福祉バス廃止**など、利用者負担を増やす、制度改悪の内容です。

この提案は有識者会議の報告を受けたものですが、改悪ありきの有識者会議の態度に、「福祉バス・敬老バスを守れ」と、多くの市民が立ち上がり、短期間で2万筆をこえる署名が集まる中、最後の第4回目には、有識者の中から「福祉の理念に反している」など、前向きな意見もありました。しかし、そんな市民の声をきちんと反映しない見直し案に、林まさひと議員は、「西区はほとんどが近郊区路線で上限廃止は利用者に大きな打撃になる」として、影響を一番受ける西区で「よくする会」の署名を引き続き集め、パブリックコメントに怒りを寄せよう!と呼びかけています。



大病を5~6回経験し、病院通いは止めることが出来ません。敬老バスを使用させていただき大変助かっています。少ない年金生活者をいじめないでください。



敬老バスで三宮に来ることが出来るので、本当に助かっています。郊外に住む者にとって、バスの料金がいっぺんに3倍にもなったら街へ出かけられなくなってしまいます。

みなさんの声で実現しました



王塚台5丁目の道路が補修されました



歩行者用の側道橋に明かりがつけました



富士見ヶ丘1丁目の側溝にふたが付き道幅が広く

えっ!?

そごうがなくなる?

西神そごうの撤退を考える

10月8日、西神そごうが「来年8月で撤退する」と表明して、西神ニュータウンの皆さんに衝撃が走りました。西神中央駅の出口正面にあるそごうは、西神中央の街のシンボルです。西区民だけでなく、三木市や小野市、明石市からも来客があります。日本共産党市会議員林まさひとは、地元の人たちと緊急アンケートに取り組みました。



シール投票の結果

ほとんどが撤退に反対



声

贈答品やちょっとした買物は、そごうでしています。なくなると困ります。街がさびれるようで寂しいです。(女性)

声

駅前に図書館や芸術ホールができると活性化を期待していたのに、もう少し待てなかったのが。(男性)

お気軽にご相談ください

西区事務所

神戸市西区玉津町高津橋 297-12

TEL 919-6650 FAX 918-3772

〒650-0001 中央区加納町 6-5-1
市会控室 078-322-5847

発行

日本共産党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内

http://www.jcp-kobe.com/

東須磨小学校の教員間いじめ、暴力事件



昨年10月に明らかになった東須磨小学校の教員間いじめ、暴力事件。子ども達の心の傷を心配する声が上がっています。日本共産党市会議員団は保護者から悲痛な思いや要望を聞き取るなど独自調査を重ね、真相究明と学校、教育の立て直しに全力を挙げています。今回、学期末を迎え冬休みに入る子ども達に対して心のケア等緊急対策が求められています。

大かわら議員は、教育委員会に対して①スクールカウンセラーの配置を常勤・固定化すること②学級担任に経験豊富な現任教員を配置すること③地域の関係機関との情報共有を密にすること④全体保護者会を開催し、これからの学校づくりの検討状況を報告するなど速やかな対策を求めました。

後藤次長は、「ご指摘いただいたスクール



教育委員会に申し入れをする大かわら議員



教育シンポジウム(11月16日)

カウンセラーは、現在の半日の体制から8時間の体制にしたい」など改善を約束しました。

上沢通り5丁目、6丁目 浸水対策が実現



一昨年の台風、大雨により上沢5、6丁目地域では浸水被害が発生しました。雨が降り出してから数分間で雨水が、家の中まで流れ込んできました。この地域では、上沢線の中央分離帯が作られて以降、浸水被害が繰り返されています。大かわら議員は、被災された皆さんの要望を聞き、議会でも取り上げてきました。このたび中央分離帯に切り込みを入れることで雨水の排水を分散、道路南の側溝のマス増設により排水能力の増強工事が完成。浸水対策が実現しました。



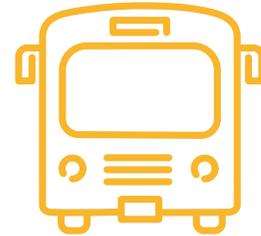
上沢線中央分離帯の切り込み



昨年神戸市は、人口減少日本一の都市となりました。市長はこれまでの対策が不十分だったと認めながらも、議会に提案した人口減少対策は、30億円かけて街灯を明るくするというものでした。今必要なのは市民の声に耳を傾け、その願い実現にこそ力を尽くすべきではないでしょうか。若い人たちが安心して子育てできる環境をつくることではないでしょうか。保育所の待機児童解消や子どもの医療費高校卒業までの無料化実現目指して頑張ります。

敬老・福祉パス 改悪ストップ

市民の
足を
守れ



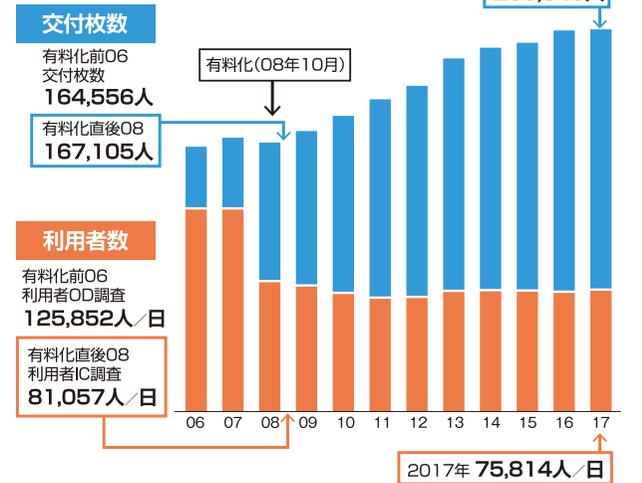
「選ばれる神戸」に
24,000筆もの署名が
集まりました!



神戸市は、敬老・福祉パス制度を見直し、市民負担を増やそうとしています。市民からは1ヶ月あまりで2万4000筆の改悪反対の署名が提出されました。大かわら議員は、総括質疑で敬老パスは市予算の0.08%で維持できることをしめし「市民の声を重さをうけとめるべき」と質しました。

神戸市は、敬老・福祉パスの対象年齢の引き上げや所得制限の導入はこのたびは断念せざるを得ませんでした。一方で①敬老パス無料乗車券(非課税世帯)の廃止を含めた見直し②北区や西区などの近郊区料金上限110円を見直し小児料金へ③福祉パスの母子世帯をはずし別の制度にし、父子世帯とともにひとり親世帯として高校生の通学定期券の補助のみへ見直すとしています。高齢者の移動支援をすることは、健康増進につながり、介護・医療費の削減にもつながります。また子どもの貧困が社会問題となっている中で福祉パスを改悪するべきではありません。引き続き制度の維持拡充を求めて頑張ります。

敬老パス交付数、利用者数



神戸市会議員

大かわら 鈴子



なんでもお気軽に
ご相談ください

● 日本共産党兵庫区事務所
☎(577) 7987

● 神戸市議団
☎(322) 5847

日本共産党 神戸市会報告 兵庫区版 2019年 決算議会号

発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL) 322-5847 FAX) 322-6165
鈴ちゃん瓦版 ▶ <http://ookawara-suzuko.com/>
ツイッター ▶ <https://twitter.com/oogawarasuzuko>

日本共産党神戸市議団 検索

みなさんの声ガカに

地域の切り捨てに“待った”!!

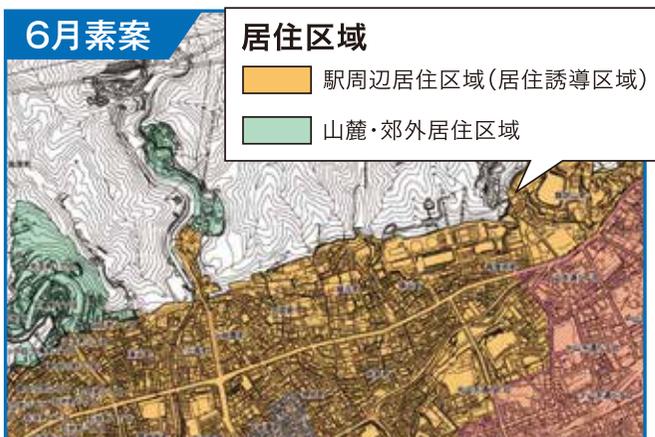
都市空間向上計画(案)

昨年6月に出された都市空間向上計画素案では、神戸市全体の3割を駅からの距離だけで切り捨てられる地域である「山麓郊外居住区域」としており、兵庫区でも天王町、千鳥町、山王町、平野町が該当していました。しかし「地域が分断される」「勝手な線引きはおかしい」との声が多数上がり、パブリックコメントでは413通1176件もの意見が出

されました。大かわら議員は、総括質疑でこれらの声を受けて「財産権にかかわる問題」と撤回を求めて質しました。10月末には修正案が出されましたが、鉄道駅だけでなく主要バス路線も考慮することに変更。その結果、切り捨てられる地域が市内5%に大幅改善、兵庫区からは消えました。

さらに計画の完全撤回求めて頑張ります。

■天王町、千鳥町、山王町、平野町



■各区の切り捨て地域一覧 ※試算

	6月(素案)	10月(案)	
西 区	人口の6割	15%未満	
垂水区	人口の5割以上	2%未満	
北 区	人口の3割	1%未満	
須磨区	人口の3割	0.5%未満	
灘 区	人口の1割	0%	
東灘区	人口の5%		
兵庫・長田区	若干		
中央区	0%		
神戸市内	人口	30万人以上	5万人以下
	面積	3割	5%

兵庫区は0%になりました!



みんなでおいしく、温かく



中学校給食 親子方式をモデル実施

神戸市の中学校給食は、デリバリー方式で行われており、冬でも冷たいおかずです。そのため喫食率は3割台にとどまっています。生徒、保護者からは「小学校のような給食にしてほしい」との声が多数上がり、大かわら議員は、改善を求めて繰り返し議会で取り上げてきました。



中学校給食の署名を訴える大かわら議員

今回教育長は、小学校で調理した給食を近くの中学校に運ぶ「親子方式」のモデル実施を初めて表明しました。現在の業者との契約は、2021年3月までであり、実施方式の転換を求めて引き続き取り組みます。

市民の「スマスイ」

民間企業への身売りは中止を!

長年にわたり市民に「スマスイ」として親しまれてきた神戸市立須磨海浜水族園が廃止・民間企業へ売却されようとしています。

この計画は須磨海浜公園全体を民間企業がリゾート開発し、30年にわたって経営を請け負うというものです。その目玉施設として新たな水族館が計画されていますが、民間再整備によって大企業の儲けが優先され、「教育施設」ではなく、「エンターテインメント施設」になってしまうことが懸念されています。また料金も大幅に上がることから「これまでのように気軽に行けなくなる」との声が上がっています。利用者である市民の声も全く聞かれないままに進められようとしています。市民不在の計画は撤回すべきです。



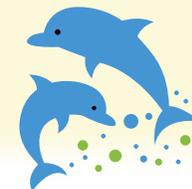
須磨海浜水族園

■新しい料金表

料金表(抜粋)	シニア (60歳以上)	大人 (高校生以上)	小人 (小・中学生)	幼児 (4~6歳)
一 般	2,500円	3,100円	1,800円	
市 内	—	—	500円 (年1回)	0円 (年1回)
学校団体	—	1,550円	900円(市内団体無料)	
障がい者	—	1,200円	650円	

■現在の料金表

料金表(抜粋)	大人 (18歳以上)	中人 (15~17歳)	小人 (小・中学生)	幼児
一 般	1,300円	800円	500円	無料



ニュータウンの切り捨てに“待った”!

神戸市の都市空間向上計画は、駅前にマンションを誘致し人口を誘導する一方、駅から離れた住宅地を切り捨てようとするものです。須磨区のみなさんから「須磨ニュータウンが分断される」「居住権や財産権を奪うものだ」など、多くの意見が神戸市に寄せられました。

6月素案では市の面積の3割が、切り捨て地域(山麓・郊外地域)となっていました。10月の見直された案では、駅を中心とした基準に主要バス停も考慮され、須磨区をふくめほとんどの地域が居住誘導区域になりました。

日本共産党とみなさんとの共同とりくみの成果です。

居住区域

- 駅周辺居住区域(居住誘導区域)
- 山麓・郊外居住区域
- 工業団地・臨海地区など



6月発表 都市空間向上計画(素案)

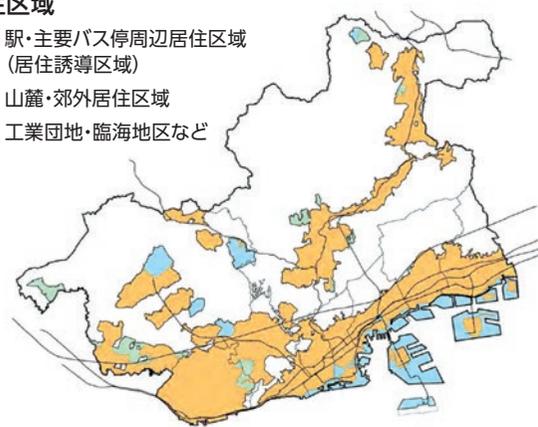
名谷駅前の再整備は住民本位に

市長が、駅前に約400戸の高層マンション誘致を柱にした名谷駅前再整備(案)を発表しました。住民からは「若い人の入居を期待しても、区内の転居が多く、逆に近隣がさびれそう」「むしろ近隣団地で世代交替ができるようリニューアル支援してほしい」などの声も。

市長(案)には、これまでみなさんと一緒に求めてきた名谷図書館や、落合池周辺的美観化なども含まれています。引き続き、名谷にお住まいのみなさんの声をとどけ、駅前再整備への見直しを求めています。

居住区域

- 駅・主要バス停周辺居住区域(居住誘導区域)
- 山麓・郊外居住区域
- 工業団地・臨海地区など



10月発表 都市空間向上計画(案)

学校再生へ全力

市立小学校の教員間いじめ暴行事件が発覚してからおよそ3か月。学校や教育に対する信頼を回復し、児童たちが安心して安定した学校生活を送るためには、まだまだ多くの時間が必要です。学校再生の主体者は、教員や児童・保護者、地域関係者です。教育委員会として、さまざまな意見や不安の声に耳を傾けることが大切です。とりわけ、子どもと保護者に寄り添い、教育、医学、心理学などの専門家の力を結集して、1年生の児童が卒業するまで息長く支援することが重要です。日本共産党議員団は、山本じゅんじ議員が12月の本会議・一般質問で質疑。引き続き、神戸の教育の改善に全力をあげます。



須磨多間線

信頼関係をもって話し合いを

須磨多間線(西須磨工区)について、神戸市は、今年2月以降の着工を表明しています。しかし地元との調整がつかないばかりか、地元の方々との話し合いすらまともに行われていません。公害調停では1度目は一方的に打ち切り、2度目は調停に出席すらせず無視し続けています。神戸市は、道路建設を前提としない話し合いには応じられないと、建設ありきの姿勢を崩していません。住民合意のない計画は撤回すべきです。



名谷地区に図書館!



神戸市が、須磨区北部の名谷地域に、図書館を開館することを公表しました。大丸須磨店内に整備する予定で、2021年にオープンするとしています。名谷駅周辺に図書館整備を求める声は、議員団のアンケートなどにも声として寄せられました。議員団も予算要望をなどで、北須磨文化センターの図書室の図書館化や駅周辺への整備を求めています。

引き続き、みなさんの願い実現にがんばります。



CONTENTS

- ▶ これからの教育・学校再生へ
- ▶ 敬老パス・福祉パス制度の改悪見直しを
- ▶ 水族園・海浜公園再整備は見直しを
- ▶ 「都市空間向上計画」は撤回を
- ▶ 須磨多間線について
- ▶ 名谷地区に図書館

神戸市議員

山本じゅんじ

日本共産党 神戸市会報告 須磨区版 2020年新春号

発行/日本共産党神戸市議員団 [日本共産党神戸市議団](#) [検索](#)
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165



子どもたちの成長支える学校づくりを



教育シンポジウム開催

昨年11月に区内で教育シンポジウムを開催。市立高校での飛び降りや市立中学生のいじめ自死など含め学校や教育の在り方が問われる問題が多発しており、「教育委員会や教育現場の人権感覚の問題にメスを入れることが必要」「子どもの権利条約を教育現場に生かすべき」などの意見や、不登校の子どもを育てる母親からの発言もありました。

教育委員会への申し入れ

児童の心のケア早急に

日本共産党議員団は、教員間いじめ暴行問題における当面の対策について、教育委員会へ申し入れ。SC（スクールカウンセラー）の体制強化や経験豊かな現任教員の学級担任への配置、地域関係機関との情報共有や連携の強化、保護者などへの説明や意見の聞き取りの強化を求めました。教育委員会は、SCの体制や地域との連携強化などについて対応したいと回答しました。



教育委員会へ申し入れをする山本議員

敬老パス・福祉パスの改悪ストップ

市民の足を守れ

市の予算の0.08%で維持できます。

敬老パスと福祉パスを議論する有識者会議が開かれ、市民の負担増となる報告書が出されました。一方で市民からは、「敬老・福祉パスを守れ」と、わずか1か月あまりという短期間で集まった2万4千筆の署名が神戸市へ提出されました。日本共産党議員団は、神戸市が民間バス業者の要望する水準を支払っても市の負担は変わらないことや、名古屋市ではJRなどにも拡大していることなどを指摘。結果、報告書では敬老パスの対象年齢や料金の引き上げを見送らざるを得なくなりました。一方で低所得者への無料乗車券の廃止を含む「見直し」や福祉パスにおける母子世帯の利用の「見直し」など改悪しようという方向性も。

高齢化が進む中、免許返納も増えています。健康で誰もが安心できるまちへ、拡充を求めています。



敬老・福祉パス維持・拡充を求める市民集会

通院、買い物に使っている。無料券ではとても足りないが、敬老パスとあわせてずい分たすかっている。



生活がいまでもぎりぎり。交通費も毎日のことなので負担がふえると生活に直結する。なくさないで。



市民の「スマスイ」

観光リゾート開発は見直しを



須磨水族園・海浜公園再整備事業が進められています。この事業は、パークPFIという手法での、民間事業者による海浜公園一帯の再整備計画です。いちばん問題なのが、水族園の再整備。公立のいまの施設を廃止し、民営化して再整備するというものです。民間事業者の提案では、新水族館の入園料が今の大人1300円から3100円、子ども料金は1800円に。のびのびパスポートが使えず、とても気軽に利用はできません。さらに問題なのが、大型

哺乳類であるシャチの飼育。派手なパフォーマンスで、集客の目玉にしようとしています。イルカやシャチの飼育は国際的にも批判が高く、シャチの取引は禁止されています。さらに市民や利用者にも十分な情報提供がないままに進められており、多くの反対や疑問の声とともに署名運動も行われています。“ゴージャスな”水族館とともに市民・利用者不在の再整備計画はやめるべきです。

現在の料金表

料金表(抜粋)	大人(18歳以上)	中人(15歳~17歳)	小人(小・中学生)	幼児
一般	1,300円	800円	500円	無料

新しい料金表

料金表(抜粋)	シニア(60歳以上)	大人(高校生以上)	小人(小・中学生)	幼児(4~5歳)
一般	2,500円	3,100円	1,800円	
市内	—	—	500円(年1回)	0円(年1回)
学校団体	—	1,550円	900円(市内団体無料)	
障がい者	—	1,200円	650円	